

2025年5月7日

株式会社MobiSavi
愛媛日産自動車株式会社

MobiSaviと愛媛日産、
リファービッシュEV(*)による新たなEV普及モデル構築に向けた検討を開始
― 安心・高品質なリユースEVで、EV市場の拡大と資源循環の両立を目指す ―

EV性能予測技術等を用いてEVデータ活用事業を運営する株式会社MobiSavi(所在地:神奈川県横浜市、代表取締役社長:左向 貴代、以下 MobiSavi)と、愛媛日産自動車株式会社(所在地:愛媛県松山市:代表取締役社長:岡 豊、以下 愛媛日産)は、EVサーキュラーエコノミー(電気自動車の資源循環)を目指し、リユースEV(中古EV)を用いた新たなEV販売モデル構築に向けた検討を開始しました。

■背景

MobiSaviと愛媛日産は、EVサーキュラーエコノミー実現に向けた取り組みとして、資源循環の課題となっているリユースEV市場の活性化を目指します。両社は、自動車メーカー系ディーラーの基準に基づき再整備を施した車両に、「実用性能証明」「バッテリー性能保証」「残価保証」を付与し、リファービッシュEVとして販売します。これにより、リユースEVに対するバッテリー性能や走行性能への不安を解消し、信頼性の高いリユース市場の形成を図ります。

■取り組み内容

MobiSaviと愛媛日産は、それぞれの強みを活かし、以下のように役割を分担しながら、新たなEV普及モデルの社会実装に向けて取り組んでまいります。

- 自動車メーカーによる認定部品を用いた消耗品の交換、内外装の修復、プログラム更新等(愛媛日産)
- 独自技術による分析結果に基づいて、品質・性能を判定し「EV実用性能証明書」を発行(MobiSavi)
- データで裏付けた残価保証による買取・回収スキームの構築(共同)
- バッテリー診断サービスを含む専用メンテナンスサービスの提供(共同)



CERTIFICATE

EV実用性能証明書

診断専売
日産 リーフ

発行日: 2025年5月7日
計測日: 2025年5月1日

バッテリー容量(現在)	34kWh	年式	2017年2月
容量維持率/SOH(現在)	86.2%	カタログ バッテリー容量	40kWh
寿命指標(Q~1)※1	0.93	型式	ZAA-ZE1
ー充電総可能距離(現在)※2	278km	車体番号	ZE1-000000
		走行距離	29,696km
		用途/車種	サービスカー
		走行地域	愛媛県松山市

※1: バッテリーの生涯充放電サイクル数(サイクル寿命)に対する、現在の充電サイクルの進捗割合に基づいて算出しています。
※2: 最新のNTEC試験可能距離に、現在の容量維持率を掛け合わせて算出しています。

FACTEVは株式会社ディー・エヌ・エーの登録商標です。本証明書は、現在のバッテリー状態およびEVの試験可能性能を示すものであり、将来にわたるバッテリーおよびEVの品質や性能を保証するものではありません。

■事業の特徴

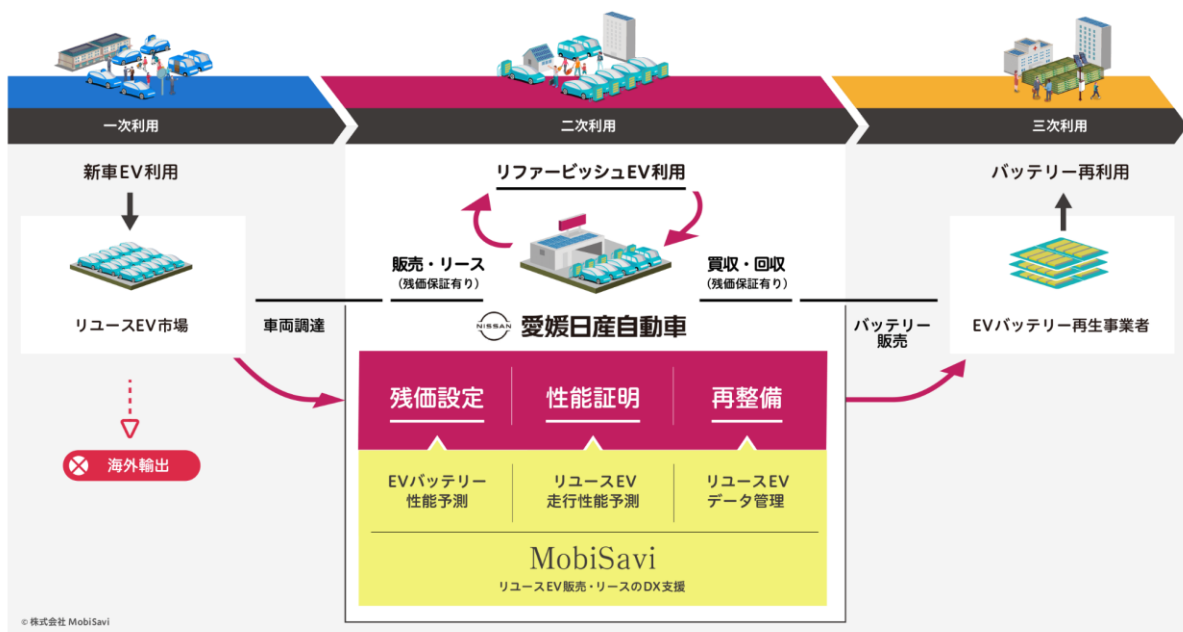
1. EVバッテリーのサーキュラーエコノミー促進
リユースEV市場の活性化を通じて、新車、リユース車、バッテリーの再利用、リサイクルまでの資源循環の流れを円滑化します。これにより、バッテリー原材料の有効活用と環境負荷低減を実現します。
2. バッテリー性能の見える化と保証
MobiSaviのEV性能予測技術（独自技術）により、これまで不透明だったバッテリーの残存性能を可視化し、「EV実用性能証明書」を発行します。さらに、バッテリー性能の予測や実測管理を通じたバッテリー性能保証プログラムにより、購入後の安心を提供します。
3. 価値の再定義
従来のリユース車査定方法に代わる、EVに特化した新たな査定方法を開発することで、バッテリー性能を含む総合的な価値評価システムを構築します。
4. 残価保証による買取・回収スキームの構築
リユースEVのみならず、新車EVのリースや残価設定型クレジットにも適用可能な買取・回収スキームを共同で開発します。これにより、EV普及の大きな障壁であった残価率の低さを解消します。

■新車EVの普及促進への貢献

本取り組みにより開発されるリユースEVの査定方法と残価保証による買取・回収スキームは、新車EVの販売促進にも貢献します。従来、新車EVはガソリン車やハイブリッド車に比べて残価が低く見積もられる傾向があり、リース料金などの月額支払い額が高額になりやすいという課題がありました。今回の新たな取り組みにより、バッテリーの将来性能を反映した、より現実的な残価設定が可能となります。これにより新車EVの月々の支払い負担が軽減され、消費者の導入意欲を高めることが期待されます。

■事業展開予定と将来の展望

MobiSaviと愛媛日産は、2025年度より本取り組みに関する共同検討を開始します。将来的には、愛媛日産が地域におけるリユースEV流通のハブとなり、査定・整備・販売に加え、バッテリー診断や二次利用のノウハウを集積・発信する拠点となることを目指します。さらに、このハブ機能を活かして周辺地域や他の販売店とも連携し、自動車メーカーを問わず多様なリユースEVを扱う体制を整えることで、リユースEVの流通を支えるエコシステムの構築を目指します。



■株式会社MobiSaviについて

MobiSaviは、EV導入支援ツール「FACTEV」などを提供し、国内における新車・リユースEVの普及に取り組んでおります。MobiSaviが有する独自のEV性能予測技術は、計測機器が不要で、かつマルチブランドの車種に対応しているため、広範な予測データの取得が可能です。また、EV転換シミュレーター「FACTEV」では、お客さまが現在使用している車両の走行データ、用途、走行地域の道路特性、気象情報などから置き換え可能なEVを提示し、エネルギーコストやCO2削減量などの導入効果を「見える化」することで、EV導入に向けた提案をサポートしております。

株式会社MobiSaviホームページ：<https://www.mobisavi.com/>

EV導入支援ツール「FACTEV」：<https://www.factev.com/>

■愛媛日産自動車株式会社について

愛媛日産は、日産リーフ発売以来、EVの整備で培った経験を活かし、今回、リファービッシュEVのリース販売や電池の再利用ビジネスに取り組み始めました。この事業を通じて、脱炭素社会の実現や地域の課題解決につながることを期待しています。また、近年ではマンマー・ヤンゴンにて合弁会社ENATEC Automotive Co., Ltd. を設立し、現地で日本語と整備の基礎を学んだ実習生を国内企業に紹介する事業も展開しております。今後は、同様のビジネスをグローバルサウス諸国へと展開していくことも検討しております。愛媛日産は、従来の自動車ディーラーが担ってきた小売や整備の分野を超えた、新たな事業展開を目指してまいります。

愛媛日産自動車株式会社ホームページ：<https://ni-ehime.nissan-dealer.jp/>

(*)リファービッシュEV：自動車メーカーや認定業者が適正な点検・整備を行い、品質や性能の保証を付けた高品質なリユースEVです。一般的なリユースEVは前オーナーの使用状態のまま販売されることが多く、車両の状態にばらつきがあります。それに対し、リファービッシュEVは新車に近い品質を保ちながら価格を抑えられるため、安心感を重視する日本のユーザーにとって、新たな選択肢として注目されています。

【本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先】

株式会社MobiSavi 広報担当：塚越

(※承継元の会社である株式会社ディー・エヌ・エーに外部委託しております。)

TEL：03-4366-7205 e-mail：pr@dena.jp

愛媛日産自動車株式会社

愛媛日産自動車株式会社 EV環境事業室：菅

TEL：089-924-4123 e-mail：y-kan@ehime-nissan.co.jp